

十二月定例会ではこんなことが決まりました

平成二十三年選挙から議員定数を二十八人へ削減

平成二十年十二月議会で設置された「議会改革調査特別委員会」が、本会議初日の十一月三十日に「最終報告」を行い、平成二十三年に行われる市議会議員選挙から、議員定数を二十八人にする事が決まりました。その他、議会改革に係りして決まった主な項目は、左記のとおりです。特別委員会は、原則廃止する。特別な課題が発生した際には、必要な特別委員会を設置する。

予算、決算議案は、従来どおり、所管の常任委員会の分割審査とする。議員の活動旅費については、グリーン車両を使用しない。行政視察のあり方については、視察報告書を詳しくし、成果を広く市民にお知らせし、行政に十分活かしていくよう努める。

議会の透明性については、市民との意見交換、議会活動の情報発信、青空議会などの意見が出されたが、各委員会や会派などにおいて、直接、市民の皆さんの意見を聞く機会を積極的に設けていきたい。議長の交際費については公開していく。

今後、委員会記録をホームページ上で公開するなど、より市民に開かれた議会を目指して将来的に検討する必要がある。今後、調査研究をしていくこととなりました。

議員の処遇や議員活動の実態について

市議会議員の退職金、費用弁償、年金などについて、市民の皆さんから色々質問が寄せられます。現在の津山市議会議員の「退職金、年金」などの処遇について、簡単に紹介します。

市議会議員の退職金制度について

市長の退職金は、約二千二百万円が一期四年ごとに支払われます。しかし、市議会議員の場合は退職金制度がありませんから、ゼロ円です。

会議などへの参加に伴う費用弁償など

津山市議会の場合は、委員会や本会議、その他の会議の出席に伴う費用弁償、交通費、食費は一切支給されていません。特別委員会など開

催回数が多くて公費の無駄遣い」との意見を時折聞きますが、津山市議会の場合、特別な経費は支払われていません。

市議会議員の年金について

議員の年金制度は大きく変化してきました。まず、掛け金ですが、議員報酬から月額約七万五千円が引かれます。議員年金は、三期十二年勤めて支給されますが、例えば、三期(十二年)の場合は一箇月約十一万三千円、五期(二十年)の場合で一箇月約十三万円、七期(二十八年)の場合で一箇月約十四万九千円が支給されます。厚生年金等を重複して掛けている議員は、下記の計算式で算出した額が減額されます。

国民年金の方は、掛け金が月額約一万四千元で、二十五年掛けて一箇月約四万一千円が支給されます。

議員年金の場合は、掛け金月額約七万五千円を考えますと、市民の方が思っておられるより、案外「議員年金」も少額というのが実態といえます。

他市からの視察

- 十月二十日(火) 東京都目黒区 八人
- 十月二十一日(水) つやま新産業創出機構について
- 十月二十一日(水) 福島県須賀川市 三人
- 十月二十六日(月) つやま新産業創出機構について
- 十月二十六日(月) 高知県南国市 八人
- 十月二十八日(水) 地域ブランド開発について
- 十月二十八日(水) 山形県河北町 九人
- 十月二十九日(木) あほグリーン公社の運営状況について
- 十月二十九日(木) 三重県松阪市 八人
- 十一月四日(水) 埼玉県加須市 四人
- 十一月五日(木) 埼玉県川越市 十一人
- 十一月六日(金) 津山城備中櫓復元整備について
- 十一月六日(金) 宮城県釜石市 二人
- 十一月八日(水) つやま新産業創出機構による農工連携について
- 十一月十八日(水) 北海道北見市 九人
- 十一月十九日(木) つやま新産業創出機構について
- 十一月十九日(木) 佐賀県唐津市 十人
- 十一月三十日(月) 行財政改革について
- 十一月三十日(月) 岡山県総社市 六人
- 広報調査特別委員会について

年金額 ×	$\frac{\text{平成15年3月以前の重複期間}}{\text{在職期間}}$	×	$\frac{25}{100}$
十年金額 ×	$\frac{\text{平成15年4月以後の重複期間}}{\text{在職期間}}$	×	$\frac{40}{100}$